

第3回千葉県ベンチャー(3CV)

プログラムガイド

【目次】

南房総活動基地	1
大青田の里山活動基地	8
北総活動基地	13
小見川活動基地	26
小篠塚城正慧寺活動基地	31

日本ボーイスカウト千葉県連盟

第3回千葉県ベンチャー(3CV)

南房総活動基地 プログラムガイド

平成26年8月2日(土)～5日(火)

8月6日(水)～9日(土)

温習場 (ボーイスカウト富津第1団野営場)

日本ボーイスカウト千葉県連盟上総地区

日本ボーイスカウト千葉県連盟南総地区

日本ボーイスカウト千葉県連盟市川・浦安地区

プログラム名 「 房総の海と風と森と… 」

設置地区名 南総地区・上総地区

活動基地名	南房総活動基地（南総地区・上総地区）		
期 間	2014年8月2日～5日①、6日～9日②（前後半3泊4日）		
参加人数	30人/回×2=60人		
テーマ	南房総の森と海の活動を通して友情とスカウティングを深める。		
目 標	冒険心を揺さぶるハイキングと海のプログラムを雄大な景色の元で体験して、ベンチャー活動の楽しみを学び、自隊での活動をさらに活発化させる。		
基地の特色	<ul style="list-style-type: none"> ■南房総国定公園の風光明媚な自然豊かな環境、近くに東京湾観音がある。 ■充実した設備を完備したベンチャースカウトに適した静かで自然豊かなキャンプ場。 ■JR上総湊駅より徒歩20分。 		
基地所在地	千葉県富津市笹毛926番地		
集合日時・場所 交通案内	第1グループ：8月2日11時	基地集合	JR上総湊駅にて現地までの案内実施
	第2グループ：8月6日11時	基地集合	JR上総湊駅にて現地までの案内実施
解散日時・場所	第1グループ：8月5日14時	基地解散	
	第2グループ：8月9日14時	基地解散	
宿泊方法	野営	食事方法	自炊及び弁当
活動の内容 および特色	<ul style="list-style-type: none"> ① 富津第1団野営場（温習場）をベースキャンプとして、東京湾沿岸の広大な景色を楽しみながら、森や海岸をコースとしたアドベンチャーハイキングを満喫する。 ② 野営場近くの海岸で本格的なイカダを作成して海水浴を楽しむ。 ③ 海岸に打ち上げられた貝殻や漂流物を利用した記念品の作成。 ④ 海岸での夕日とシルエットに浮かぶ富士山を望みながらのバーベキュー。 		
宿泊施設名	富津第1団野営場（名称：「温習場」）		
活動実施施設等			
参加費用	16,000円		
特記事項	天候不順の場合は代替えプログラムを用意。		

※PDF形式の南房総基地基本日程と南房総基地アクセスを出力して差し込む

オープンセレモニー

南房総の森と海の活動を通して友情とスカウティングを深めることによって、忘れえぬ思い出作りを体験し、これから始まる3CVへの期待感を高めます。

テーマ：「出会い」

日時：〔前半〕8月2日（土）19：00～20：00 〔後半〕8月6日（水）19：00～20：00

服装：制服

場所：温習場（富津第1団野営場）営火場

- 参加者入場
- 参加者紹介
- 国旗掲揚
- 「おきて」の唱和 等

オープンセレモニー、進行のイメージ

〔第1部〕



- ・ 営火場中央にファイアの井桁を組んで、入場前から点火して照明を兼ねる。
- ・ ファイア正面には3CVのシンボル（仮称）になるものをライトアップする。
- ・ 雰囲気を盛り上げるため、乗りの良い音楽をBGMで流す中を、参加者は入場する。
- ・ 簡単なアイスブレイキングで、緊張した場の雰囲気を和ませる時間を持つ
- ・ 『南房総基地へようこそ』のストーリーを設定して、司会から参加隊の紹介を楽しく行う

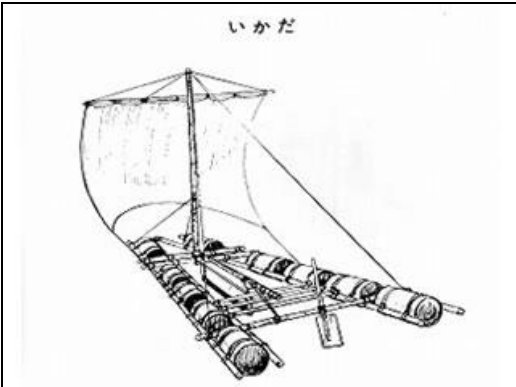

〔第2部〕

- ・ 国旗掲揚
- ・ 連盟歌（BGMを流す）
- ・ 開会宣言
- ・ 「おきて」の唱和
- ・ 活動基地長 歓迎のことば
- ・ スタッフの紹介
 - (1) 生活指導グループ
 - (2) プログラムグループ
 - (3) マネジメントグループ

オープンセレモニー 終了

第3回千葉県ベンチャー・プログラムガイド】(ベンチャースカウト向け資料) Ver, 1

■ 活動基地 南房総基地 『房総の海と風と森と…』
■ プログラム (No.1) アドベンチャーハイク テーマ「行き先は、地図に聞け！」
■ 活動日程 (前半) 平成26年8月3日(日) 9時00分～16時00分まで (後半) 平成26年8月7日(木) 9時00分～16時00分まで
■ 活動場所 富津市笹毛地区～磯根崎までの山と海の地域一帯
■ 参加服装 ネッカチーフ、防水処置したトレッキングシューズ、ハイキングに適した服装 熱中症を防ぐ帽子、作業用手袋、その他
■ 持ち物 水筒、タオル数枚、個人救急用品、シルバコンパス、筆記具、雨具、着替え(下着・靴下等) 電車代(400円程度)、健康保険証、ティッシュ、ビニール袋(大・小)、その他
■ 参加するにあたっての準備事項 ・地図の地形図が読み取りできること ・現在位置を知り、目標地点までのルート・距離・方角・地形を調べ測ること ・シルバコンパスを利用して指定された方角上の目的地へ行けること ・座標定規を利用して座標読みを行い、目的地へ行けること ・その他、個人・チームとしての課題やプロジェクトに関する準備など
■ 注意事項等 ・プログラム実施中、様々な社会の目が私たちに向けられています。「ちかいとおきて」を保つスカウトとして、「さすがボーイスカウトだ!」と言える行動とマナーをお願いします。 ・ハイキングコース中は南房総の人の手が入っていない手付かずの自然の箇所が多くあります。暑い季節ですが、出来るだけ肌の露出は控えて、ケガの予防に努めて下さい。 ・昼食は支給する予定です。現地にて詳細をお知らせします。
■ 活動内容 南房総は自然が豊かだ。海がある。森がある。そして爽やかな風がある。これらを味わって見ないか?! 森は優しく君達を迎えてくれるかも知れない。海は厳しく君達に試練を与えるかも知れない。 それらを仲間と乗り越えたとき、爽やかな風が君の頬に語りかけるだろう。 それが自然に溶け込んだ瞬間だ!! 南房総基地「アドベンチャーハイク」は、君達に最高の達成感と満足感を与えるだろう。
 

<p>■ 活動基地 南房総基地 『房総の海と風と森と…』</p>
<p>■ プログラム (No.2)</p> <p style="text-align: center;"><u>パイオニアリング (筏作り)</u> テーマ「太平洋へ出航せよ!!!」</p>
<p>■ 活動日程</p> <p>(前半) 平成24年8月4日(月) 9時00分～12時00分まで (後半) 平成24年8月8日(金) 9時00分～12時00分まで</p>
<p>■ 活動場所</p> <p>富津市笹毛地区の海岸</p>
<p>■ 参加服装</p> <p>作業着上下(中に水着)、濡れても良い運動靴、作業用手袋、熱中症を防ぐ帽子、その他</p>
<p>■ 持ち物</p> <p>水筒、タオル数枚(バスタオル含む)、個人救急用品、筆記具、雨具、着替え(下着・靴下等) 健康保険証、ティッシュ、ビニール袋(大・小)、ナイフ、その他</p>
<p>■ 参加するにあたっての準備事項</p> <ul style="list-style-type: none"> パイオニアリング(大型工作物)を行うために必要とされる結索で、角縛り、筋交い縛りはさみ縛り等を習得してこること(結索は荒縄で行います) ナイフの正しい使用法、手入れ法が実践でき、携行する場合の注意義務を理解すること その他、個人・チームとしての課題やプロジェクトに関する準備など
<p>■ 注意事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> 日中、海岸での活動になります。各自、日焼け対策や熱中症対策を万全にしましょう。尚、海岸には日陰場所とトイレを設営します。(海の家などはありません) 海岸は岩場や貝殻の破片が多く、サンダル等は危険です。指の出ている物、皮膚が出ているはき物等は参加不可とします。濡れても良い運動靴(スニーカー)を必ず準備して下さい。 作業は縛材(丸太)やドラム缶を使用し危険が伴います。安全第一の為、作業用手袋を必ず準備して下さい。尚、ライフジャケットは作業前に全員へ貸与します。 昼食は支給する予定です。現地にて詳細をお知らせします。
<p>■ 活動内容</p> <p>南房総基地の目の前には美しい太平洋が広がっています。その海を利用した楽しいプログラムの数々を提供します。その一つにドラム缶を利用した本格的な筏(いかだ)をみんな協力して作ります。限られた材料で創意工夫し、スカウトの心と技と力を合わせて南房総の海へ漕ぎ出しましょう。</p> <p>【筏(いかだ)のイメージ図】</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>いかだ</p>  </div> <div>  </div> </div>

【第3回千葉県ベンチャー・プログラムガイド】(ベンチャースカウト向け資料) Ver, 1

<p>■ 活動基地 南房総基地 『房総の海と風と森と…』</p>
<p>■ プログラム (No.3)</p> <p style="text-align: center;"><u>ビーチコーミング</u> テーマ「海からの贈り物」</p>
<p>■ 活動日程</p> <p>(前半) 平成26年8月4日(月) 13時00分～15時00分まで (後半) 平成26年8月8日(金) 13時00分～15時00分まで</p>
<p>■ 活動場所</p> <p>富津市笹毛地区の海岸</p>
<p>■ 参加服装</p> <p>作業着上下(中に水着)、濡れても良い運動靴、作業用手袋、熱中症を防ぐ帽子、その他</p>
<p>■ 持ち物</p> <p>水筒、タオル数枚(バスタオル含む)、個人救急用品、筆記具、雨具、着替え(下着・靴下等) 健康保険証、ティッシュ、ビニール袋(大・小)、ナイフ、クラフト作成に必要な補助材料など</p>
<p>■ 参加するにあたっての準備事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ビーチコーミング」とは何かを調べて、自身の望むイメージを計画してくること ・製作のため必要と思う補助材料等は自身で準備してくること(100均などにありますね) ・その他、個人・チームとしての課題やプロジェクトに関する準備など
<p>■ 注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜辺には危険な物も落ちています。例えば医療廃棄物など注射針や、危険な薬品などが落ちて いる危険性がありますので、十分注意して下さい。 ・その他、軍事物や劇薬が入ったポリタンクなど、人体に影響がある恐れがありますので、絶対 に手を触れないようにして下さい。 ・浜辺には野犬が出没する恐れがあります。充分注意して下さい。
<p>■ 活動内容</p> <p>ビーチコーミングという言葉をご存知ですか?海辺に上がった貝殻や流木、小さな生き物たちを拾ったり、じっくり観察してみたりすることです。漂流物は、長い年月をかけてたどり着いたものばかりで、一つ一つに歴史やストーリーが刻まれています。これはどこから来たのだろうか?どうしてこんなカタチになったのだろうか?なんて思いを馳せながらそれらを見つめ直してみると、改めて海辺は宝の山なのだとということに気がきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南房総基地で準備する物として、ボンド・テグス糸・ビーズ類・グルーガン(ホットボンド)や電動ドリル等を用意します。 ・1日目のアドベンチャーハイイクで歩きながら、地面をみると…そこには宝物があるかも知れません。
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

『別れの夕べ』

県下全域から集まり、南房総基地で出会ったスカウトたち、お互いの違いを認め、協力し合い、共に過ごした夏の思い出を振り返り、私たちのこれからの進む方向と沈む夕日を共に見つめます。

テーマ：「輝く思い出」

日時：〔前半〕8月4日（月）18：00～20：30 〔後半〕8月8日（金）18：00～20：30

服装：自由（ネッカチーフ着用）

場所：富津市笹毛の海岸

- 「別れの夕べ」開会宣言
- バーベキューパーティー
- 思い出のスライドショー
- サンセットタイム
- ステージタイム
- 「別れの夕べ」閉会のことば

『別れの夕べ』進行のイメージ

〔第1部〕

- ・バーベキューの炭は事前に熾しておき、すぐに食事ができるようセットしておく
- ・雰囲気盛り上げるため、乗りの良い音楽をBGMで流す
- ・ステージ上、3CVのシンボル（仮称）をライトアップする。
- ・司会が会場の雰囲気を盛り上げた後、「別れの夕べ」開会宣言
- ・バーベキューの立食パーティー
- ・食事が落ち着いたところで、3CV南房総基地活動中の写真（白黒）をスライドで映写する。
- ・スライド映写中は、落ち着いた雰囲気のBGMを流して、思い出を振り返る
- ・※映写が終了するころ、夕日が沈む時間帯に合わせて、すべてのタイムスケジュールを設定する。
- ・ただ静かに全員で浜に座って、夕日を眺める時間を過ごす（照明は最小限に）
- ※もっとも重んじる時間帯「サンセットタイム」

〔第2部〕

- ・ステージ上、3CVのシンボル（仮称）を再びライトアップする。
- ・司会が第2部開始の雰囲気を盛り上げ、ステージタイムを進行させる
- ・スカウトによるスタンツやソングで自由に楽しめる時間をもうける
- ・司会によりクールダウン、活動基地長から「別れの夕べ」閉会宣言
- ・ソング「
」
- ・国旗儀礼

第3回千葉県ベンチャー(3CV)

大青田の里山活動基地 プログラムガイド

平成26年8月5日(火)～7日(木)

8月8日(金)～10日(日)

柏市大青田の里山

日本ボーイスカウト千葉県連盟東葛地区

日本ボーイスカウト千葉県連盟千葉地区

日本ボーイスカウト千葉県連盟松戸・鎌ヶ谷地区

1. 活動基地企画書

プログラム名 里山でサバイバルキャンプ（柏でサバキャン!）

設置地区名 東葛地区

活動基地名	大青田の里山		
期 間	8月5日（火）～7日（木）、8日（金）～10日（日）		
一回当たり定員	24名		
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・最小限の装備でサバイバルキャンプを行う ・里山の整備体験を通じた自然保護・環境保全の理解促進。 ・通常の活動では経験できないプログラム（大型構築物、ツリークライミング）の展開。 		
目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 必要最小限の装備で2泊3日のキャンプを行う。 ② 里山の「管理」「保全」「利用」について学び、自然保護の重要性を理解する。 ③ 実際に樹木等を切って工作および構築物（ツリーハウス等）を作成する。 ④ 当活動基地の特性を活かしたプログラム（樹木等の伐採、木登り等）を体験する。 ⑤ 活動を通じた技能章考査課題への取り組み。 		
基地の特色	<ol style="list-style-type: none"> ① NOP 法人ちば里山トラストが整備、管理をしている都市近郊の里山で野営する。 ② 住宅地から離れた広い敷地であり、活動に使用するスペースが十分確保できる。 ③ 里山内の基地のため、立木・竹等が豊富で樹木を利用する活動が実施できる。 ④ 柏の葉キャンパスの研究機関（東大等）の講義を受講できる。 		
基地所在地	柏市大青田		
集合日時・場所 交通案内	第1日目 12:30 集合 大青田の里山の活動基地受付に集合 東武野田線 江戸川台駅から徒歩 25 分、つくばエクスプレス線柏の葉キャンパス駅から徒歩 40 分		
解散日時・場所	第3日目 12:00 大青田の里山で解散		
宿泊方法	野営	食事方法	自炊・給食
活動の内容 および特色	<ol style="list-style-type: none"> ① 里山を利用した大型構築物の作成（ツリーハウス、モンキーブリッジ等） ② 里山の立ち木を使った安全に配慮した木登りを行う。 ③ の整備を実際に体験しながら環境保護について学ぶことができる。 ④ ナタ、カマやのこぎりなどの刃物を安全に取り扱うことを学ぶ ⑤ 樹木等の伐採や木登り体験、ドラム缶風呂など体験が難しい活動に参加できる。 		
宿泊施設名	大青田の里山		
活動実施施設等	同上		
参加費用	13,000円		
特記事項			

2. 活動基地日程表

	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10
6:00		起床・朝食	起床・朝食（作った燻製）	8/5と	8/6	8/7
7:00	(国旗儀礼・降納等の記載については省略しました)	朝礼・スカウトズOWN	朝礼・スカウトズOWN	同じ	と	と
:30			P8 里山の散歩(自然探訪)		同じ	同じ
8:00			なた・鋸の使い方			
:30			P5 里山の保全② (樹木の伐採等)	P9 里山の保全③(講義)		
9:00			P6 体験プログラム	レポート作成		
:30			① ^パ 休アリング			
10:00			②ツリークライミング	撤営開始		
:30			(途中昼食)			
11:00				昼食： ^パ 休アリングからの 流し素麺		
12:00		受付		セレモニー、解散		
13:00	P1 スタードームづくり					
14:00						
15:00	P2 ドラム缶風呂設営					
16:00	P3 里山の保全①(講義)					
		P7 燻製作り				
17:00	夕食準備	夕食準備				
	夕食：地獄炊き＋非常用	夕食：緊急時炊飯＋竹炭				
18:00	炊き出し料理献立	を使ったBBQ				
:30	夕食終了・片付け					
19:00	入浴・レポート作り	キャンプファイア				
:30						
20:00	P4 夜プロ・里山ハイク	入浴・レポート作り				
:30						
21:00						
22:00	就寝	就寝				
22:30						
23:00						

3. プログラム紹介

サバイバル(的な)キャンプです。必要最低限の装備でキャンプを楽しみましょう。食事も緊急時の食事を中心に、災害時に役立つ一時大量炊飯など普段では体験できないメニューを準備しています。

また、技能章考査課題への取り組みが可能です。隊リーダーと相談して積極的にチャレンジしてください。

☆取組可能な主な技能章：

炊事章 野営章 竹細工章 木工章 森林愛護章等

P1スタードーム作り：

準備された材料でスタードームを作成します。「ねぐら」はこのスタードームにするか、事務局で用意するブルーシートでリンツーを作成するかお好きな方で。

P2 ドラム缶風呂：

ドラム缶で風呂を作ります。ひよっとすると、野外サウナを経験できるかもしれません。

P3 里山保全について①：

里山について NPO 法人他、専門家からの方から講義を受けます。翌日以降の活動の参考にします。

P4 夜プロ・里山ハイク

夜の里山でハイクを行います。暗闇を歩く経験は、あなたに夜の怖さを克服する強い心を育ててくれることでしょう。

P5 里山保全について②：

里山の管理（手入れ作業）を行います。事前に鋸や鉋等、作業に必要な刃物の手入れと扱いについて学び、実際に木や竹などを伐採、あわせて下草刈りを行います。

P6 体験プログラム：

普段の活動では体験が難しいプログラムを行います。

①パイオニアリング

里山に自生している樹木と準備した資材を使い、モンキーブリッジやツリーハウスを構築します。事前に隊リーダーと相談のうえ取り組めば、単章課題・スカウト技能への取り組みにすることもできます。

②ツリークライミング

専門家の指導の下、自生している木に登ります。木の高みから眺める風景は、どんな見え方をするのでしょうか。

P7 燻製作り

準備した食材と器具で燻製作りをします。事前に隊リーダーと相談のうえ取り組めば、炊事章の野外料理の課題への取り組みにすることもできます。

P8 里山の散歩

早朝に里山の散歩をします。野鳥、樹木、昆虫等興味のある対象について学ぶことができます。もちろん、自然あふれる朝の散歩を楽しむだけでもOK。運が良ければオオタカに巡り合えるかもしれません。

P9 里山保全について③

お世話になった里山について振り返り、里山の保全・管理・活用について学びます。

食事 夕食

災害時や非常時等の炊飯技術について学ぶ食事を提供します。

☆地獄炊き：一度に大量の炊飯を行う技法です。ぐらぐら沸き立つ寸胴にお米を投入して炊飯します。

☆ビニ袋炊飯：ビニール袋を使った炊飯技法です。飯米用以外にきれいな水が確保できなくてもご飯が炊けます。

☆非常用炊き出し献立：炊事章課題にある「非常応急炊き出し食 30 人前の献立表、および所要材料表、ならびにその作業計画書」で実際に炊き出し食を作成します。炊事章課題へ取り組むスカウトは献立表・所要材料表・作業計画書を事前に提出してください。事前提出された献立のなかから採用したもので当日の料理を作ります。

4. 活動基地紹介

柏市内にある里山です。自然豊かな環境で、とても柏市の一部とは思えない環境です。オオタカも飛来するところなので、オオタカに会うことができるかもしれません。

交通手段：

公共交通機関利用です。最寄駅は

①東武野田線 江戸川台駅から徒歩 25 分、

または

②つくばエクスプレス線柏の葉キャンパス駅から徒歩 40 分になります。

5. 個人装備および活動グループ装備

サバイバルキャンプなので、必要最低限の装備で来てください。

シュラフ	ヘッドランプ
食器類一式	洗面具
作業用手袋（軍手等）	スカウトロープ
救急用品・持薬	健康保険証
着替え	雨具
筆記用具	虫除け
ハンドブック類	白米 2 食分
技能考査に必要なもの	その他個人プログラムで必要なもの

6. サバキャンにおいてよ！

市内でサバイバルキャンプ（的な）活動を行います。自分の技量を試したいスカウト、普段では体験できない野外プログラムを経験したいスカウトの参加を待っています。サバキャンを楽しむもよし、技能章に取り組むもよし、とにかく楽しんでください！

第3回千葉県ベンチャー(3CV)

北総活動基地 プログラムガイド
〈北総スカイアドベンチャー〉



平成26年8月1日(金)～3日(日)

8月8日(金)～10日(日)

野田市 NPO 法人 関宿滑空場

日本ボーイスカウト千葉県連盟北総地区

目 次

1. はじめに	2
2. 北総活動基地・実施要領	3
3. 活動プログラム概要	3
4. 活動基地施設・訓練機体	3
5. 活動基地基本日課・日程	4
6. 活動基地の組織と運営	4
7. 安全について	4
8. その他	4
(1) 技能章の考査について	
(2) 服装・携行品	
9. 活動基地へのアクセス	6
10. メモ	7
別紙1. 参加費・申込手続き	8
別紙2. 活動基地基本日課・日程表	9
別紙3. 活動基地安全ガイド	10
別紙4. 活動基地組織図・業務分掌	11
別紙5. 北総活動基地参加誓約書	12

1. はじめに

“流れゆく風に心開いて” そっと目を閉じた時、貴方は何に思いを馳せますか。

幼き頃小さな麦わら帽子を飛ばした草原の風ですか、それとも遠く海原に浮かぶヨットを一人見つめていた浜辺の風ですか。風にはいろいろな思いが重なります。

“壮大な大気の流れ” 風を、鳥になって大空で触れて、感じてみませんか。

一步前に足を踏み出した後に、道ができます。それが、貴方の掛替えのない一本の道となって明日に繋がっていきます。

ベンチャースカウトの皆さん、一步前に、鳥にチャレンジして下さい!

ようこそ北総活動基地〈北総スカイアドベンチャー〉：関宿滑空場へ!

北総基地(関宿滑空場)の活動は、NPO 法人関宿滑空場、及び野田スカイスports振興会の全面的な協力を得て、グライダーの飛行理論、構造、組立、操縦法等の講義、及び操縦・滑空体験などの実技研修を行います。北総スカイアドベンチャーの体験を通して、ベンチャースカウト諸君が新たな空の世界を拓いていく事を、そして一步前に歩んでいく事を私達は期待しています。

それではスカウトの皆さん、「そなえよつねに」の精神を忘れずに第3回千葉ベンチャー北総活動基地において、日頃の成果を発揮し、充実した未来を目指して、仲間とともに価値ある一步を踏み出しましょう。

北総活動基地 基地長 芝田榮太郎

2. 北総活動基地 実施要領

名称 : 第3回千葉県ベンチャー北総活動地区〈北総スカイアドベンチャー〉

テーマ : “一歩前に! 鳥になれ”

プログラムアドバイザー・講師・教官 : NPO 法人関宿滑空場、野田スカイスポーツ振興会

開催日時 : 平成26年 ①8月1日(金)~3日(日) 2泊3日 9:30 受付

②8月8日(金)~10日(日) 2泊3日 9:30 受付

募集定員 : ①、②コース 各12名 計24名 ★ 定員になり次第締め切ります。

開催場所 : NPO 法人 関宿滑空場 千葉県野田市平井123番地

管理棟 TEL(04)7198-1401

宿泊 : 舎営 (関宿滑空場B棟宿泊ルーム・冷房・温水シャワー完備)

食事 : 自炊 (施設調理器具使用、食材配給)

参加対象者 : ベンチャー章を持つスカウト

指導者(WB研修所BS課程・VS課程修了者)、ローバースカウト(地区コミショナー推薦)

参加費 : 18,000円/人 (ベンチャースカウト)

5,000円/人 (指導者・ローバースカウト:活動基地要員役務)

参加申込締切日 :

参加申込手続き : 別紙1.「参加費、及び申込手続き」参照のこと。

3. 活動プログラム概要

第1日目 開会式

施設オリエンテーション : 格納庫・機体・宿泊施設・炊事場・シャワー・管理棟
生活指導、服装

学科 : 訓練機体(PW-2 GAPA)のPW-2 GAPAの機体について、構造・飛行特性、航空法について、ゴム索飛行方法(グライダー発航法)、パラシュート装着、重心位置確認、操縦法

実技 : 機体運搬、組立、ゴム索設置実技、機体の分解・格納・清掃

第2日目 実技 : 機体運搬・組立、ゴム索訓練(発航訓練) 地上滑走、滑空訓練、機体分解、格納、清掃

学科 : 本日の訓練評価、反省、指示伝達事項

第3日目 実技 : 機体の組立、滑空訓練、機体分解・格納、格納庫清掃、宿泊棟清掃 閉会式

4. 活動基地施設・訓練機体

(1) 関宿滑空場施設

江戸川の広い河川敷を生かしたグライダー滑空場で、所属クラブ数25、滑走路1,500メートル×150メートル、グライダー数30機、40年の歴史を持つ滑空場です。



施設は、管理棟、A 宿泊・研修棟、B 宿泊・研修棟、新旧格納庫、滑走路からなり、多くの社会人クラブ、大学クラブが利用し訓練を行っています。

(2) 訓練機体(単座プライマリーグライダー) (PW-2 GAPA 機)

PW-2 GAPA 機(ポーランド製)で、シンプルな構造ながら設計についてはヨーロッパにおけるグライダー製造の統一基準 JAR22 をクリアしており、高い信頼性を持った機体です。



5. 活動基地の基本日課・日程

講義・実技研修の課目・日程は、基本的に NPO 法人関宿滑空場、野田スカイスポーツ振興会の「グライダーパイロットへの道」カリキュラムに沿って実施致します。

詳細は、別紙 2. 「北総活動基地基本日課・日程表」を参照のこと。

6. 活動基地の組織 と運営

- ・活動基地組織詳細は、別紙 4. 「北総活動基地組織図・業務分掌」参照のこと。
- ・運営は、基本的に北総活動基地組織・業務分掌に則って行うが、そのプログラム(講義・実技研修の講師・教官)の多くは、NPO 法人関宿滑空場(S. F. G)、野田スカイスポーツ振興会(N. S. S. P)の助言、協力を仰ぐこととする。

7. 安全について

基本的に「千葉県連盟 3CV 実行委員会安全ガイドブック」に従って、対応する。

尚、北総活動基地のプログラムでは、実機グライダーを使用した滑空訓練を行います。

従って、飛行原理・操縦法等の講義は真剣に受講する事、又高価で精密な機体の取扱い、及び操縦などの実技では、教官の指示に正しく従うことが極めて重要となります。散漫な受講態度と、粗野な機体の取扱い、漫然と操縦を行うことは、即大きな事故に繋がります。その事を十分理解・納得して研修、訓練に臨んで下さい。

詳細は、別紙 3. 「北総活動基地安全ガイド」参照のこと。

8. その他

(1) 技能章の考査について

北総活動基地では、期間中取得できる技能章の考査項目の考査をする予定となっています。対象の技能章は、 章・ 章・ 章の予定です。

(2) 服装・携行品

- ・開・閉会式、朝礼では、正装(制服・正帽)とする。

・活動基地服装基本ルール

活動に際しては相応しい服装を着用すること。特に実技・滑空訓練の際には、機体や部品、及び操縦機器などに絡まったり、引っ掛かる恐れのある紐などが付帯した服装は厳禁とし、ネックチーフも不可となります。

尚、研修・訓練の際は、参加者識別、及び危険予知の為に、ビブスを着用します(支給)。

・帽子

熱射病予防の為、つば付き帽子が好ましい。

帽子留め具・・・滑走路上等に飛散し、離陸・着陸の障害物になることを防ぐため。

・履き物

ゴム索牽引、及び機体搭乗の際はスニーカーなどのゴム底の靴を着用すること。革底の厚く硬い靴は避けて下さい(操縦応答性、ゴム索牽引運動性に難あり)。

〈携行品〉

下記携行品については、北総基地の活動に必須のものについて記述しました。その他必要となる品物については、ベンチャースカウト諸君の責任と、経験に基づいて準備下さい。

- ・北総活動基地プログラムガイド、筆記用具、作業用手袋、健康保険証、常備薬、寝袋・マット、食器、マイカップ、上履き、長靴、雨具(カップ)
- ・初日昼食(弁当)
- ・健康調査書 参加者には事前に送付致します(受付時に提出)。
尚、健康調査書に関連し、持病、又は食物アレルギーのある方は事前に下記まで連絡下さい。

北総活動基地 生活指導班長 ○○○○ TEL _____

- ・活動基地誓約書(NPO 関宿滑空場様式)を参加者には事前に送付致します。署名の上、受付時提出。
- ・その他、2泊3日の舎営生活に必要な物全てを纏めてリックサックにパッキングの上持参のこと。

* 留意

① 寝袋・マットについて

宿泊ルームは冷房完備で、2段ベッドとなっています。但し、ベッドマットレスは付属しておりません(板張り)。従って、寝袋・マットは必ず持参下さい。

② 作業用手袋について

機体外板・主翼等は、精密、且つ表面が極めて平滑になっています。

従って、機体の組立、運搬、分解の際部品、主翼等を確保・保持する為、又は落下を防止する為、右写真のような滑り止め加工(丸ゴム加工、又は平面ゴムコーティング)を施した作業用手袋を必ず準備下さい。



9. 活動基地へのアクセス

(1)活動基地の住所

〒270-0225 NPO 法人 関宿滑空場 千葉県野田市平井 123 番地
管理棟 TEL (04) 7198-1401

(2)交通手段

車：国道 16 号線中里陸橋で右折、約 4.5 km、駐車場有り

電車：東武野田線川間駅下車

バス：川間駅北口より朝日自動車バス乗車

- ・東宝珠花
- ・関宿中央タミナル
- ・関宿はやま工業団地
- ・境町
- ・境車庫
- ・関宿城博物館

上記行き、いずれかに乗車し「平井入口」で下車、徒歩約 8 分です。

参考：東武野田線柏駅 8:03 発

川間駅着 8:43 着

朝日自動車バス（川間駅北口）

東宝珠花行き 8:52 発

平井入口 9:10 着(予定)

徒歩約 8 分で関宿滑空場へ

*時刻表はダイヤ改正で変更している場合があります。事前に確認下さい。



別紙.1 参加費・申込手続きについて

別紙.2 北総活動基地基本日課・日程表

* カリキュラムは、天候や機材の状況によって変更する場合があります。

	第1日目	第2日目	第3日目
6:00		起床	起床
6:30		国旗掲揚、朝礼	国旗掲揚、朝礼
7:00		朝食	朝食
7:30			
8:00	スタッフ集合、	GAPA 機体運搬、組立、	GAPA 機体運搬、組立
8:30		機体点検	機体点検
9:00		ゴム索訓練(地上滑走、滑空	ゴム索訓練(地上滑走、滑空
9:30	参加者受付開始 誓約書提出	訓練)	訓練)
10:00	開会式 国旗掲揚		点呼
10:30	オリエンテーション(施設説明)		GAPA 機体分解、運搬、格納
11:00	〈学科〉航空法について	GAPA 機体係留、	清掃
11:30	GAPA という機体について	昼食(仕出し弁当)	昼食(仕出し弁当)
12:00	昼食 (各自弁当持参)		
12:30			
13:00	簡易テント設営(休憩・待機所用)	ゴム索訓練(地上滑走、滑空	宿泊研修棟清掃
13:30	〈実技〉GAPA 運搬、組立、分解方法	訓練	
14:00	〈実技〉ゴム索設置実技		閉会式、解散
14:30			
15:00			
15:30			
16:00	点呼	点呼	
16:30	〈実技〉機体分解、格納、清掃	GAPA 機体、分解、運搬	
17:00		格納、清掃、	
17:30	国旗降納	国旗降納	
18:00	入浴(温水シャワー)	入浴(温水シャワー)	
18:30			
19:00	夕食	夕食	
19:30	後片付け	後片付け	
20:00	〈学科〉GAPA の構造、飛行特性	本日の訓練評価、反省	
20:30	〈学科〉ゴム索曳航方法	伝達、指示事項	
21:00	〈実技〉パラシュート装着		
21:30	〈実技〉重心位置確認、操縦方法		
22:00	消灯、就寝	消灯、就寝	

★ 尚、荒天にて野外実技・滑空訓練が実施できない場合は、航空映画の上映、成田・航空科学博物館見学、関宿歴史を訪ねるハイク、その他を計画しています。

別紙 3. 北総活動基地安全ガイド

基本的に「千葉県連盟 3CV 実行委員会安全ガイドブック」に従って、対応する。

初めにグライダーとは

グライダー（滑空機）は、飛行機と同じように翼と車輪を持ち、人間が機体のコクピットに乗り込んで操縦しますが、飛行機と異なり、エンジンなどの動力を用いずに「滑空」し、上昇気流を利用することで、長時間、長距離のフライトをすることができます。但し、滑空を始めるためにはある程度の高度と速度が必要であるため、地上から飛び立つときには、曳航機とよばれる①飛行機、又は②「ウインチという曳航装置」と「ワイヤー」をつなげ、ある程度の高度まで引き上げてもらう必要があります。

【北総活動基地での滑空・操縦訓練では】

- ・ 曳航は、②「ウインチという曳航装置」などの動力を使用せず、人力による曳航となります。 写真1 参照
 - ・ 「ワイヤー」の代わりに、太いゴム索(ゴム索に強いテンション掛ける)を使用します。 写真2 参照
- 従って、滑空高度はせいぜい1～2m 程度が限界となります。



【北総活動基地の実技研修、及び滑空訓練に於いての安全基本ルール】

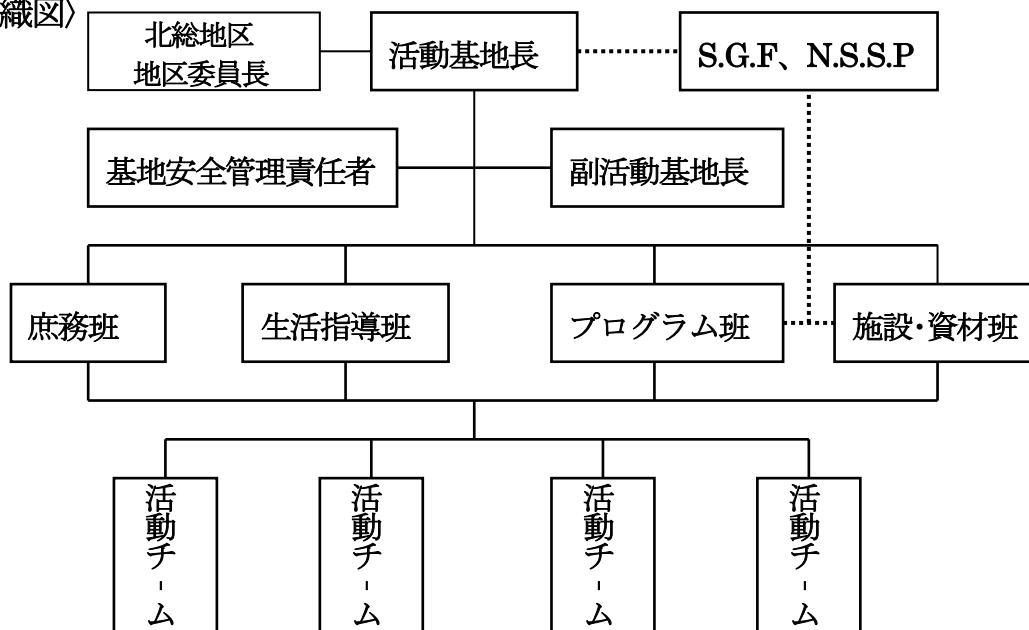
- (1) 格納庫内では
 - ・ 教官の指示に正しく従い、不用意に機体、施設機材に触らない。
 - ・ 機体・部品は、作業用手袋(滑り止め付き)装着の上、丁寧に扱う。
 - ・ 軽飛行機のプロペラには絶対手を触れない(プロペラ停止の状態においても)。
 - (2) 滑走場・滑走路では
 - ・ 教官の指示に正しく従い、勝手な行動、急激な行動(飛び出し)は厳禁です。
 - ・ 教官の指示なくして、滑走路に立ち入らない。
 - ・ 滑走路の横断、移動は、管理者(関宿滑空場)、及び教官の指示に従う。
 - ・ 見学、待機の際は、土手、又は指示された待機場所に留まる。

理由:

 - ①他のグライダー曳航機(軽飛行機)が着陸姿勢に入り滑走路に進入する際、エンジン出力は最小に絞られています。エンジン音が小さくなっている為、機体の接近が気づき難い。
 - ②同様に、グライダーは動力を持たないため、更に機体の接近が気づき難い。
 - ・ 滑空場、及び滑走路上にゴミを落とさない……他利用者の運航に支障きたさないよう配慮する。
 - ・ ゴム索牽引の際、絶対にゴム索から手を放さない(作業用手袋装着)。
 - ・ 駐機中の軽飛行機、グライダーには絶対近づかない、触れない(特にプロペラ)。
- ◆ 北総活動地区〈北総スカイアドベンチャー〉参加に際しては、別紙 5. の誓約書(NPO 関宿滑空場様式)に署名・提出(受付時)を御願ひ致します。

別紙 4. 北総活動基地の組織図と業務分掌

〈組織図〉



S. G. F : NPO 関宿滑空場 N. S. S. P : 野田スカイスポーツ振興会

〈業務分掌〉

地区委員長 : 3CV 北総活動基地の事業企画・運営・安全など全般にわたり指導、統括する。

活動基地長 : 活動基地の責任者として、活動基地業務全般を統括する。基地安全管理責任者不在のときはその職務を代行する。

尚、業務遂行・決定にあたっては、NPO 関宿滑空場、及び野田スカイスポーツ振興会の助言・協力を仰ぐ。

副活動基地長 : 活動基地長を補佐し、活動基地長不在のときはその職務を代行する。

基地安全管理責任者 : 活動基地全般の業務に関わる安全について、管理・指導にあたる。

庶務班 : 受付、記録、経理、広報、救護衛生、駐車場管理、その他

生活指導班 : 参加スカウトの統括管理、活動基地での生活指導、規律・安全の保持、参加スカウトのプログラム遂行の支援、健康調査書の作成・管理

プログラム班 : 活動基地プログラムの企画・運営・実施に関すること、国旗掲揚・降納の実施に関すること。尚、プログラムの企画・運営・実施については、S. F. G、N. S. S. P との十分な協議・連携のもとに行う。更に講義・実技研修の講師・教官の派遣と指導を依頼する。

施設・資材班 : 生活資材、プログラム資材の管理調達、献立の作成、参加スカウトの食材調達・配給、S. F. G、N. S. S. P 関係者、及び奉仕スタッフへの給食、健康調査書(食物アレルギー等)確認

尚、宿泊・研修施設、及び主なプログラム資材(機体等)は、S. F. G、N. S. S. P の管理に属する。

尚、別途「北総活動基地業務要領」を作成し、業務分掌の詳細、プログラム遂行上の安全管理、緊急避難手順、緊急連絡体制等を定める。

別紙 5. 参加誓約書 (NPO 関宿滑空場様式)

第3回千葉県ベンチャー(3CV)

小見川活動基地プログラムガイド

平成26年8月3日(日)～6日(水)

水郷小見川少年自然の家

日本ボーイスカウト千葉県連盟香取東総地区

日本ボーイスカウト千葉県連盟船橋地区

プログラム名 水や歴史と遊ぼう

設置地区名 香取東総地区

小見川基地のプログラム（水や歴史と遊ぼう）

テーマ水に親しみ、自然と歴史を体感する

活動基地名	小見川基地		
期間	8月3日(日)～8月6日(水)		
1回あたり定員	30人		
テーマ	水に親しみ、自然と歴史を体感する		
目標	水泳章、カヌー章の取得		
基地の特色	水郷小見川少年自然の家を利用、テントによる野外生活、自炊と給食混在 ミニハーバー（カヌープール）及び黒部川、隣接B&G施設の利用 地元史跡（香取神宮、伊能忠敬他）探索、自転車ハイク 史跡探索は自転車（一部トラック輸送）、他活動場所はすべて徒歩範囲 体育館、プラネタリウムなど水郷小見川少年自然の家の施設利用		
基地所在地	〒289-0313 千葉県香取市小見川 5249-1 TEL 0478 (82) 1343		
集合日時・場所 交通案内	8月3日(日) 15時00分 水郷小見川少年自然の家 電車の場合：JR成田線「小見川駅」下車徒歩30分 自動車の場合：東関東自動車道「佐原香取IC」から12km・約20分		
解散日時・場所	8月6日(水) 10時00分		
宿泊方法	野営	食事方法	自炊、給食
活動の内容 および特色	① 水泳章の指導並びに考査（隣接B&Gプール借用） ② カヌー章の指導並びに考査（施設内ミニハーバーと黒部川） ③ リバーツーリングを通じ河川や自然環境の保全重要性を知る ④ 地図と歴史の街「香取市佐原」をたどる自転車ハイキング ⑤ プラネタリウム、双眼鏡や天体望遠鏡での星座や惑星等の観察		
宿泊施設名	水郷小見川少年自然の家 http://omigawa.shoppro.co.jp/		
活動実施施設等	水郷小見川少年自然の家、同ミニハーバー、黒部川、プラネタリウム 小見川B&G海洋センター（〒289-0313 香取市小見川 4866-736）		
参加費用	16,000円		
特記事項	① 技能章の考査を受けるために事前課題を実施してから参加する ② 台風等の影響でカヌーやボートの運航ができないことがある ③ 施設の都合から日程延長はできないのでプログラムの一部中止もある		

目標 水泳章、カヌー一章の取得

＜事前課題として考査員の指導を受け、報告書の準備をしていること、
各技能章は、スカウトが課目内容を練習し、隊長が考査を受ける段階に達したこと
を確認して考査員に申請することになります＞

(雨プロ：自転車で地図と歴史の町を巡る。プラネタリウムの活用、天体観察)

1. 水泳章取得

- (1) 水泳初心者に対して行うべき注意を知り、準備運動およびバディ・システム(2人組法)を指導できること。
- (2) 500m以上を泳ぎ続けること(場所と時間は制限せず)。
- (3) 外出着(上着、ズボン、シャツ、ソックス)および靴を20秒以内に脱ぎ、水中に飛び込むこと。
- (4) 岸、船、桟橋などより水中に飛び込むときの注意につき説明すること。
- (5) 岸より5mの水底にある4kgの物体を水底に潜り、泳ぎながら岸まで引き上げること。
- (6) 溺者を発見した際、自分の水泳能力とそのときの状況に応じてとり得る処置を説明し、これを実演すること。
- (7) 水泳後の健康、衛生につき、説明すること。
- (8) 50mを55秒以内に泳ぎ得ること。
- (9) ライフジャケットの効力、浮力(自分の体重は何キロの浮力のライフジャケットであれば浮か)、正しい着用の仕方を調べ、それを実演すること。

2. カヌー一章取得

- (1) 水泳章を有すること(小見川基地プログラムの初日に考査予定)。
- (2) カヌーの歴史および競技カヌーの種類について説明すること。
- (3) カヌーの標準装備(カヤック1人乗り・カナディアン1人乗り)および付属品について名称をあげてその正しい使い方を説明すること。
- (4) 水においてK1(カヤック1人乗り)またはC1(カナディアン1人乗り)を用いて次のことができること。
 - 1) カヌーの正しい運び方。
 - 2) 桟橋(船台)を利用して艇に乗り降りする。

- 3) 45度傾いた艇においてバランスをとり復元する。
 - 4) 正しいパドリングで50m直進し、停止する。
 - 5) 基本パドリングのうち、基本漕ぎ(直進)、逆漕ぎ(逆進)、引き漕ぎ(引きよせ)操作ができる。
 - 6) 転覆した艇から脱出し、艇をおこし、パドルを入れ棧橋(船台)、プールサイドに艇を移動して水を出す。
- (5) カヌーの取り扱い、手入れおよび修理について説明すること。
 - (6) 練習上の注意事項および安全について説明できること。
 - (7) 次のことを説明すること。
 - 1) カヌーイストとしてのマナーと心がけ。
 - 2) レーシングカヌー(静水オリンピック種目)スラローム、ワイルドウォーター(溪流の違い)。

3. リバーツーリング(黒部川)

黒部川(くろべがわ)は千葉県東部の一級河川。利根川水系利根川の支流である。香取市と旭市に源を発し、東庄町新宿の黒部川水門で利根川に合流する。現在は黒部川貯水池として黒部川水門とともに塩害や洪水を防ぐ役割を担っていて、カヌーやレガッタなどが盛んである。

天候等の条件が良ければ、****までの**kmにわたるツーリングを実施予定。
河川や自然環境の保全重要性を知るきっかけになることを期待する。

4. 地図と歴史の街をたどる自転車ハイキング(雨プロ)

地元史跡の香取神宮や伊能忠敬記念館を探索する自転車ハイク。

香取神宮は千葉県香取市香取にある神社。式内社(名神大社)、下総国一宮。旧社格は官幣大社で、現在は神社本庁の別表神社となっている。関東地方を中心として全国にある香取神社の総本社。茨城県鹿嶋市の鹿島神宮、茨城県神栖市の息栖神社とともに東国三社の一社である。御祭神は経津主大神(ふつぬしのおおかみ) <又の御名伊波比主命(いはひぬしのみこと)。

伊能忠敬記念館は、50歳を過ぎてから日本全国を測量して歩き、わが国最初の実測日本地図をつくりあげた伊能忠敬の人生を年代順に追い、その業績の結晶である伊能図を紹介している。

5. プラネタリウム、望遠鏡での星座や惑星等の観察(雨プロ)

「水郷小見川少年自然の家」の施設であるプラネタリウムや望遠鏡で星座や惑星等を観察する。

小見川基地

「水郷小見川少年自然の家」を主とする活動基地

水郷小見川少年自然の家 (<http://omigawa.shoppro.co.jp/>) は、香取市の利根川支流・黒部川に隣接する少年自然の家である。

〒289-0313 千葉県香取市小見川5249-1 TEL 0478-82-1343

電車の場合：JR成田線「小見川駅」下車徒歩30分

自動車の場合：東関東自動車道「佐原香取IC」から12km・約20分

施設の概要は以下のとおり。

1. 室内

- (1) 大小浴場、リネン室、保健室、事務所、団体打ち合わせ室、オリエンテーション室、会議室、体育館（ミニバスケットボールコート1面、バレーボールコート1面、バドミントンコート2面）
- (2) 研修室、和室、創作室、プラネタリウム（202席）、食堂、講師室、リーダー室
- (3) 宿泊室、障害者用宿泊室、リーダー室

2. 屋外

- (1) ミニハーバー（カヌー練習場）
- (2) じゃぶじゃぶ池 野外ステージ わんぱくフィールド
- (3) キャンプファイヤー場：常設2 仮設1
- (4) キャンプサイト：定員→90名 サイト数→15
- (5) 野外炊さん場（定員100名）
 - 1) 炊事用かまど1箇所（12基）
 - 2) 流し2箇所（蛇口各6個）
 - 3) 食事用テーブル・ベンチ12基

施設利用時間、宿泊室のチェックイン・アウトの時間

チェックイン：9:00～11:30/13:00～15:30

チェックアウト：9:00～16:00

朝食：7:30～8:30、夕食：17:30～19:00、入浴：19:00～21:30

小見川B&G海洋センターは、体育館と室内プールが利用できる施設。

〒2890313 千葉県香取市小見川4866-736 TEL 0478-82-1000

開館時間 9:00～21:30（休館日 月曜日、祝日の翌日、年末年始）

水郷小見川少年自然の家から徒歩5分

第3回千葉県ベンチャースカウト大会

印旛活動基地 ガイドブック

大地の声を聞け！



第1回 (8月2日(土)～4日(月) 2泊3日)

第2回 (8月8日(金)～10日(日) 2泊3日)

1. 活動基地企画書

活動基地名	小篠塚城正慧寺基地
期 間	8月2日～4日、8日～10日 2泊3日×2回
一回当たり定員	15人
テ ー マ	フィールド調査
目 標	大地は、過去から現在に至る間に生じた大自然の現象や人間の営みの歴史を刻み込み、それを我々にメッセージとして“語りかけて”います。このメッセージを、フィールド調査を行って“聞き取り”、大地に隠されている秘密を楽しみながら明らかにしましょう。
基地の特色	<ul style="list-style-type: none"> ① 基地は、小篠塚城跡に建てられている正慧寺を利用します。 ② 周辺部は自然環境に恵まれており、地形や地質に適した箇所が存在しています。 ③ 近接地には、史跡の存在が確認されています。 ④ JR物井駅から徒歩40分程度で到着します。
基地所在地	佐倉市小篠塚城 599-1
活動の内容 および特色	<p>活動の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ① フィールド調査の準備 “大地の声はどこで聞ける？” <ul style="list-style-type: none"> ・大地からのメッセージを聞きとる為のポイントを伝授します。 ・地図と既存資料から、調査地点の候補を考えます。 ・調査地点を絞り込み、調査ルートを設定します。 ② フィールド調査の実践 “大地の声を聞け” <ul style="list-style-type: none"> ・大地の秘密を解き明かす、フィールド調査へ出発します。 ・調査地点で、大地のメッセージを聞き取ります。 ・隠された秘密を解明し、その結果をフィールドノート、地図、および写真に記録します。 ・予想外だった点や、疑問点なども記録します。 ③ フィールド調査のまとめ “大地の声を君が語る” <ul style="list-style-type: none"> ・調査により、解明できた大地の秘密に関してまとめます。 ・大地の秘密を、あなたの声で他の人に伝えます。 ・今後の課題と、それを解決する方法について考えます。 <p>活動の特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ① フィールド調査の実施能力を修得 フィールド調査の基本を学ぶとともに、自分達で実際に調査を実施することで、フィールド調査のやり方が身につきます。 ② 本質を見抜く観察眼の養成 本プログラムを通じて、普段は見過ごしている様な、身近なものの中に隠れている本質を見抜く観察眼を養います。 ③ PDCAサイクルを体験 本プログラムは、一連の活動を通じてPDCAサイクルが経験できるように立案されています。 ④ 郷土を愛する心を育みます 本プログラムをきっかけとし、自分の住む身近な郷土の中に魅力を発見し、愛する心を育みます。
宿泊施設名	摩耶山 正慧寺
活動実施施設等	同上（フィールド調査は基地周辺で実施）
参加費用	11,000円（プログラム、食費、宿泊費を含む）
特記事項	夏の活動なので、暑さ、熱中症、日焼け対策、また毒蛇（マムシ、ヤマカカシ）や害虫（蚊、虻、蜂、ムカデ、毛虫、ダニ等）への対策が必要。

2. 活動日程表

第1回 (8月2日(土)～4日(月) 2泊3日)

第2回 (8月8日(金)～10日(日) 2泊3日)

	1日目	2日目	3日目
6:00		起床	起床
7:00		朝食	朝食
8:00		国旗掲揚	国旗掲揚
9:00	資材搬入	§4 測量実習	§7 調査結果報告会
10:00		§5 フィールド調査実施 設定したルートに従い目的箇所へ向かい、課題を解決するための観察を実施。	§8 周辺探索 調査地域を再度訪問し課題の検討結果を評価し、改善すべき点を検討する
11:00	スタッフ集合	<ul style="list-style-type: none"> ・地層探し 地層の状況観察 ・湧水地点探し 湧水状況観察 ・遺跡探し 遺跡状況観察 (途中で適宜昼食を取る) 	閉会式 スカウト解散
12:00	打ち合わせ		
13:00	受け付け 各自昼食(弁当持参)		
14:00	オリエンテーション 開会式		
15:00	全体会議・プログラムガイダンス		
16:00	§1 調査地域下見	休憩	
17:00	§2 調査課題提供 調査課題への取り組み	§6 調査結果のまとめ ・今後の課題検討 ・発表資料の作成	
18:00			
19:00	国旗降納 夕食(カレー)	国旗降納 夕食(バーベキュー)	
20:00		懇親会	
21:00	§3 実際のフィールド調査の話 (チリ・ラオスの例、測量)		
22:00	水浴び	水浴び	
23:00	グループリーダー会議 班会議	グループリーダー会議 班会議	
	消灯・就寝	消灯・就寝	
備考			

3. プログラム紹介

プログラム“大地の声を聞け”では、ベンチャースカウトの皆さんに、基地周辺の大地に隠れている秘密を明らかにするため、以下に示した内容で、二泊三日でフィールド調査を実施していただきます。大地が語るメッセージを聞き取り、その秘密を解明できた時の喜びは格別なものがあります。皆で、楽しみながらフィールド調査にチャレンジしましょう。



Google マップ に加筆

調査地域の航空写真

§1 調査地域下見

最初に、調査地域の全体的な状況を把握するとともに、基地周辺に大地に刻まれたメッセージが無いかを探してみます。もしも、何か見つけることが出来たら、大地は我々に何を語りようとしているのか考えてみます。

§2 調査課題提供

“大地のメッセージ”を見つける方法と、それを聞いて解き明かすためのポイントを、実際にフィールド調査を行ったことがある講師に教えてもらいます。

そのあと、基地周辺の地図および、インターネットの情報やガイドブック等の資料を用いて、どこで、どのような調査を行うかを考え、調査ルートを設定します。

§3 実際のフィールド調査の話

実際のフィールド調査を具体的にイメージしてもらうため、砂漠やジャングルで実際にフィールド調査を実施したことがある講師の体験談を聞きます。

§4 測量実習

フィールド調査を実施する時に役にたつ、簡易測量を実際にやってみます。(測量章の内容で、自分で出来るものは事前にやっておくと良いでしょう。)

§5 フィールド調査実施

大地のメッセージを聞くために、実際にフィールドに出て調査を行います。普通なら見逃すような大地のメッセージを見つけて、それが何を語っているのかを聞きだします。そして、メッセージを発見した場所を地図に書きとめ、解き明かしたこと、および疑問に感じた事をフィールドノートに記録します。また、必要に応じて写真撮影をします。



大地のメッセージ1



大地のメッセージ2



大地のメッセージ3

§6 調査結果のまとめ

フィールド調査により、大地から聞き取ることが出来た内容に関して、皆に伝える為の発表用資料を作成します。フィールドノートに記録したことと、および写真を用いて模造紙にまとめます。

§7 調査結果報告会

“大地の声”を聞いて解明した秘密について、君の声で皆に語ります。

§8 周辺探索

最後に、皆で“大地の声”をもう一度聞くために、再度フィールドへ出てみます。この時に、調査で解明できなかった疑問点に関して再度、皆で考えてみましょう。

4. 活動基地の紹介

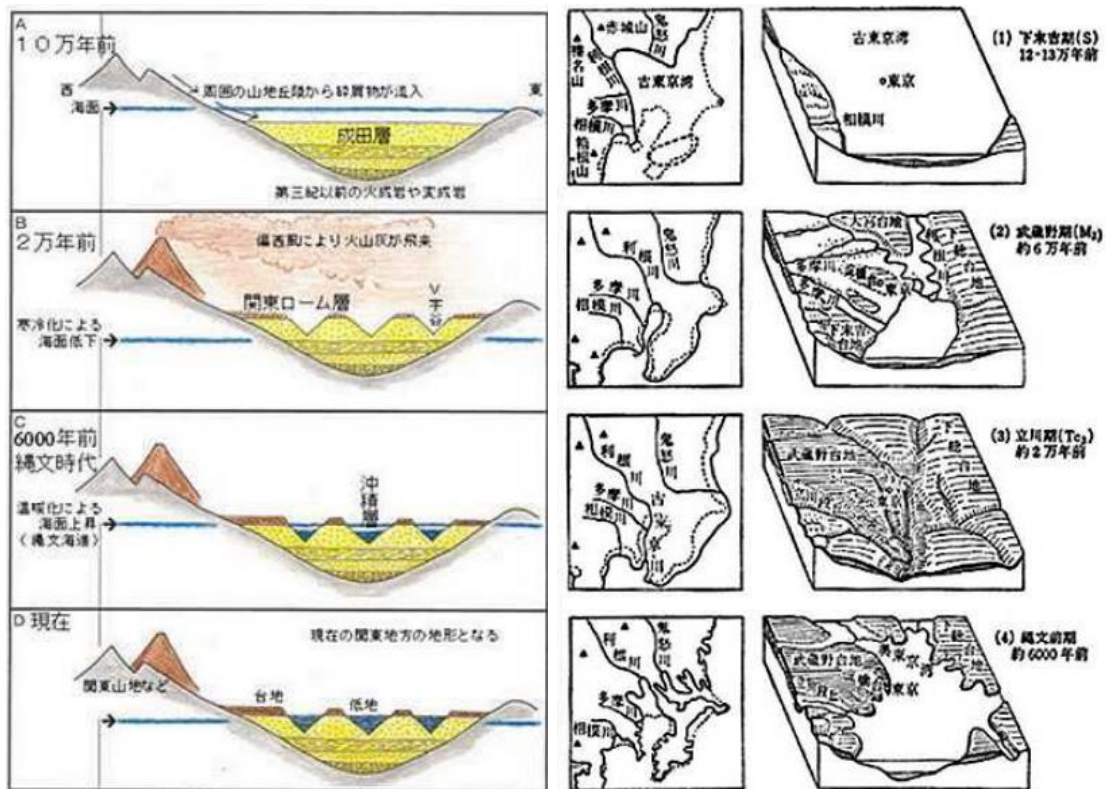
・活動基地の魅力

活動基地は、小篠塚城跡に建てられた正慧寺を利用します。本基地の周囲には以下のような魅力があります。

1) 地質観察に適している

基地周辺には、10 数万年前から現在に至る間に形成された地層が分布し、それらを観察できる場所があります。フィールド調査を実施することで、過去に生じた自然現象を解き明かす発見ができる可能性があります。

年代	海面	できごと
10 万年前	上昇	関東平野は北～西～南と三方を山地・丘陵で囲まれた海だった。海底はお盆のように凹んだ形をしていて、周囲の河川から次々と碎屑物が流れ込んで堆積していたので、分厚い地層ができた(関東堆積盆)。
2 万年前	100m 以上低下	それまでの海底が陸化し、河川が流れ侵食によりV字谷が刻まれた。また富士山などの火山が噴火し飛来した火山灰が堆積して関東ローム層になった。
6000 年前 縄文時代	100m 以上上昇	再び海面が上昇してV字谷に海水が進入した。海水は内陸まで進入してリアス海岸ができた(縄文海進)。内湾や入江の底には泥が堆積し、やがて埋め立てられ干潟や湿地になった(沖積層)。
現在	数m低下	沖積層が干上がり低地になった。一部は水が残り、湖沼(霞ヶ浦や印旛沼)となって現在に至る。

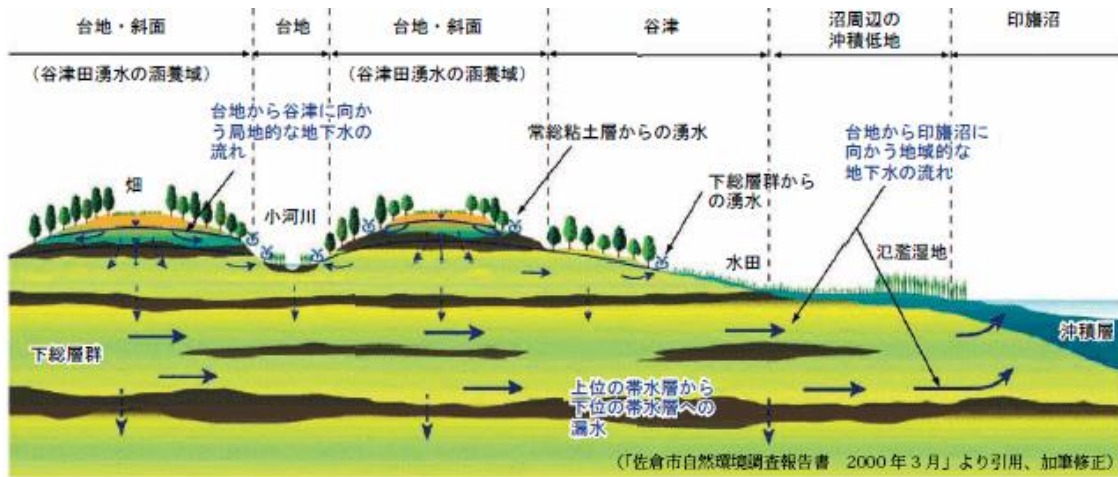


「関東平野の成立 (地表構造)」より引用

http://watasumi.web.fc2.com/05ShizenKa/100730_Kanto02Taiseiki.pdf

2) 地形観察に適している

基地周辺の大地は、標高20~30mの下総台地と、印旛沼や鹿島川沿いの標高5m前後の沖積低地から成り立っています。鹿島川の上流部にあたる「谷津」の斜面からは水が湧き出し、それが川となり印旛沼に流れ込んでいます。フィールド調査により、これらを観察することができ、またそこから何かを発見できる可能性があります。

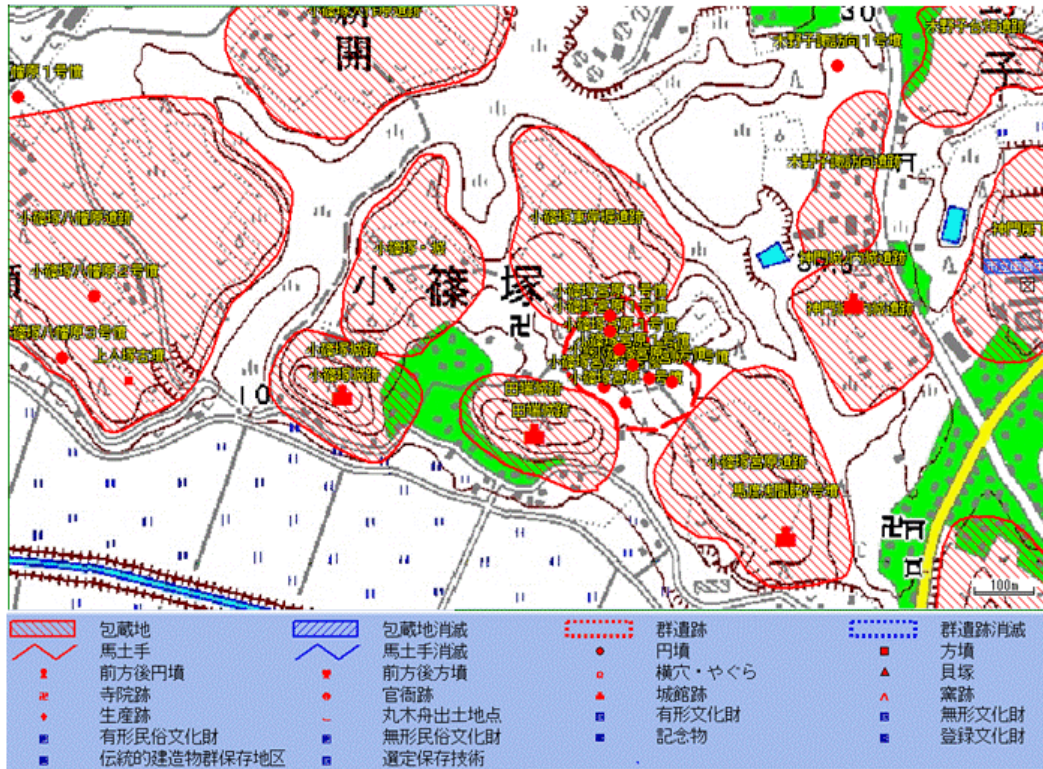


湧水地点について 印旛沼情報広場 より引用

<http://inba-numa.com/what/syoukai/tokucyou/>

3) 史跡が存在する

人々の暮らしは谷津を中心に古代から築かれてきたと考えられています。基地およびその周囲には、城址跡や古墳等の史跡が存在することが知られています。フィールド調査により、何かを発見できる可能性があります。



ふさの国文化財ナビゲーション より引用

<http://www.pref.chiba.lg.jp/pbbunkazai>

[/framesetGIS.aspx?centerX=140.2238889¢erY=35.72383333&searchmode=3](http://framesetGIS.aspx?centerX=140.2238889¢erY=35.72383333&searchmode=3)

4) 小篠塚城の歴史に触れることができます

本基地は小篠塚城址跡地内に位置しています。現地を歩いて、城址跡が語る鎌倉末期から現在に至るまでの歴史に耳を傾けてみましょう。



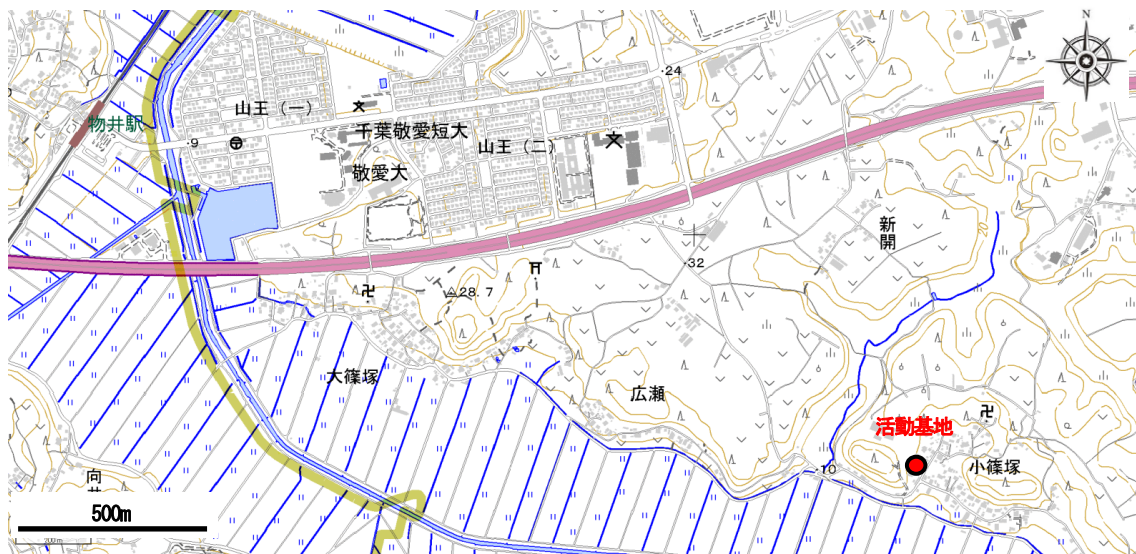
小篠塚城の歴史		
鎌倉時代	1192 (建久3年)	源頼朝が鎌倉に幕府を開く
	1284 (建長元年)	千葉宗家直臣が佐倉地域を知行(治めること) (平河新兵衛入道・平河左衛門四郎等が所領を有していた)
	末期	千葉氏により小篠塚城築城
室町時代・戦国時代	1336 (建久3年)	足利尊氏が京に室町幕府を開く
	1349	尊氏の命により足利基氏が鎌倉公方に着任関東十カ国を支配する
	1455 (享徳4年)	足利成氏が幕府と対立し下総国古河を本拠とし古河公方を名乗る
	同年	下総千葉氏の内紛より千葉城が廃城となる
	1471 (文明3年)	初代鎌倉公方足利成氏古河を追われ千葉氏を頼り約1年間小篠塚城に動座
	1472 (文明4年)	足利成氏古河回復につき小篠塚城より帰還
	中期	下総千葉氏の内紛により2代古河公方足利政氏と対立する
戦国時代	1502 (明応11年)	2代・3代古河公方足利政氏・基氏父子千葉氏討伐のため 約3年間小篠塚城に動座
	1504 (永正元年)	足利政氏・基氏父子小篠塚城より帰還
	1590 (天正18年)	豊臣秀吉の小田原攻めに先立ち房総3国は豊臣方に平定され小篠塚城落城 小篠塚城は廃城となり荒れ果てる
現在	1999 (平成11年)	城址園工事着手
	2006 (平成18年)	「小篠塚城址をきれいにする会」発足
	2008 (平成20年)	城址園完成

小篠塚城の歴史について 小篠塚城址園より引用

<http://park.geocities.jp/koshinodukashiro/rekishi.html>

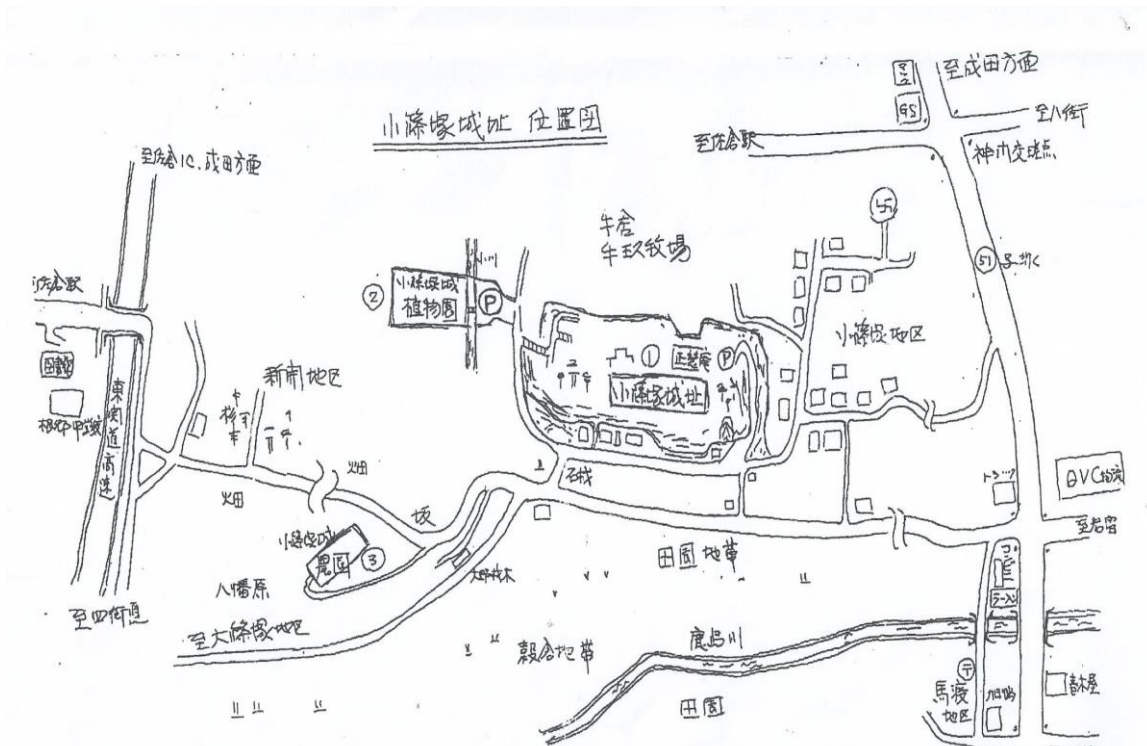
・活動基地へのアクセス（公共交通機関を使用する場合）

JR物井駅から徒歩で約40分。



地図閲覧サービス（ウォッチず）に加盟

活動基地までの地図



(図の左側が概ね北方向)

活動基地周辺図

5. 個人装備および活動グループ装備

1) 個人装備

制服制帽、帽子、コンパス、簡易測量器、ヘッドランプ、筆記用具、時計、食器、雨具、ストーブ（バーナー）、コップ、シュラフ、救急用品・常備薬、健康保険証の写し、日焼け対策（作業帽、グラス、日焼け止めクリーム等）、その他キャンプに必要と思われるもの

※テントは不要

2) グループとしての装備

特になし

6. 取得出来る技能章考査項目（※事前課題の準備が必要です。）



24. 文化財保護章の3

エ 埋蔵文化財

(ア) 縄文・弥生・古墳各時代の土器および縄文・弥生各時代の石器の特徴についてレポートを提出する。

(イ) 古墳時代各期の特徴と古墳各部の名称をまとめて説明する。



40. 測量章の2、3、4、5、7

2 簡易（見通し式）測量法を知り、相似三角形を利用して川幅が測定できること。

3 高さの測定法を3種以上知り、その内2つ以上を実演すること。

4 次の簡易測量器を自分で作り、実際に使用できること

ア 仰角簡易測器および正切簡易測器

イ 厚紙（3cm×31cm）に次の縮尺の目盛りを付けた簡易直定規を作成
1/200、1/250、1/500

5 ピタゴラスの定理を応用して、巻尺またはコンベックスを使って、直角を出す方法を熟知する。

7 トランシットを実際に操作し、歩測簡易測器で測量した結果との相違を知る。

7. 事前課題

1) 簡易測量器の作成

測量章の4に示された、簡易測量器を作成してきて下さい。

2) 埋蔵文化財について調べる

文化財保護章の3の埋蔵文化財の項目（ア）と（イ）を実施してきて下さい。

3) 本ガイドブックの活動基地の紹介で示した内容の下調べ

印旛地域の地質や地形、遺跡等に関して、事前に図書館やインターネットで情報を収集して下調べをして下さい。

以上